

581系 特急型交直流電車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベースメーカーをご使用の方は、マグネットカプラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカプラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PMS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

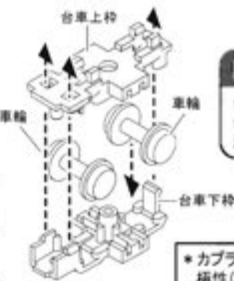
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



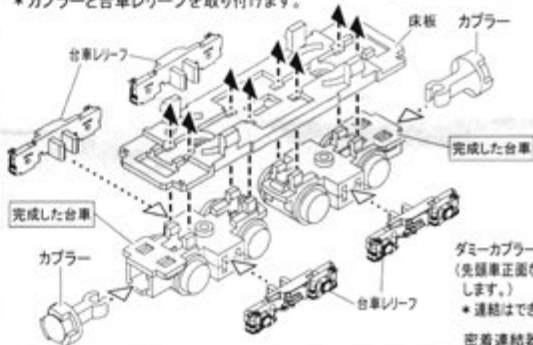
向きに注意!

台車下枠の向きに注意してください

2 <シャーシの完成>

- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カプラーと台車レリーフを取り付けます。

●カプラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。



台車レリーフの向きに注意。



ダミーカプラー(先頭車正面などに使用します。)
●連結はできません。

密着連結器(JR電車ほか)
●自動連結器(各車・各動車)

ドローバー(2両を固定連結する場合に使用します。)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●トレインショーティアーは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティアー専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。



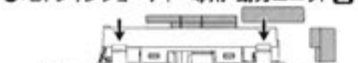
●床板前後の穴ひで、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けください。)

●EF200、EF210、DD53などは、車体長が長いのでカプラーの掛り量が充分にできません。重連運転や、極小カプラー、Sカーブでは、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティアー専用・動力ユニット②・電車・気動車用」を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体と固定します。

- ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ワレットは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「トレインショーティアー専用・走行台車①」を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

●台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

●スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。

●新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

●Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社「Nゲージの取り扱い説明書」をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自動車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

●KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

●EF64e、DF50、DD53などは、車体裾の低い車両には装着できません。

●11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

●KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを取り取ってからシャーシと交換・装着します。(車種によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、別取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO: 11-401 PS14: 直流パンタグラフ

KATO: 11-403 PS22: 直流・下枠変形パンタグラフ

KATO: 11-404、11-420 PS16: 直流パンタグラフ

※11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ

グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ

グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ

クロスポイント: PT71C: シングルアーム・パンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



通勤電車① コイルバネタイプ DT329-イ 103系など


急行電車① 空気バネタイプ DT329-イ 165系 485系など

通勤電車② ボルスタレスタイプ DT619-イ 8231系など

●取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けください。

●取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
●ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。

- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスクートを前面に取り付けます。)

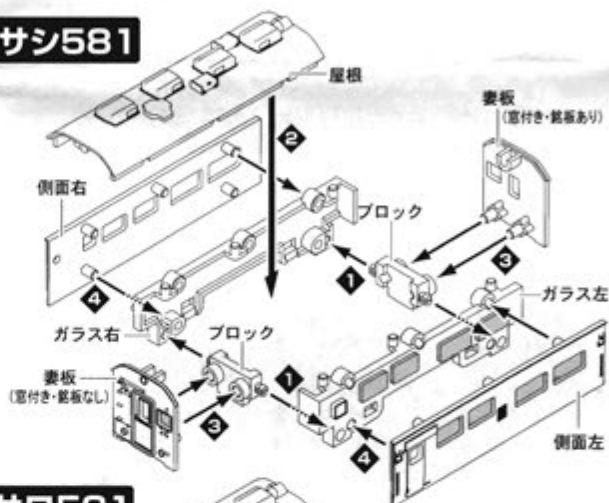
クハネ581

クハネ581-1~8



正面
(暖地タイプ)
(クハネ581-1~9)
(クハネ583-27~30登場時)

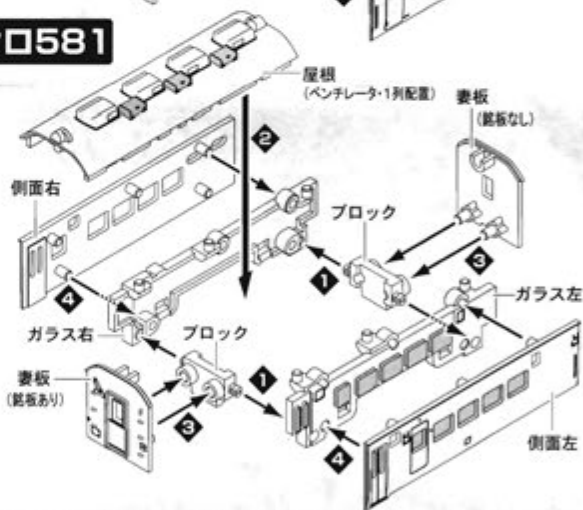
サシ581



モハネ580

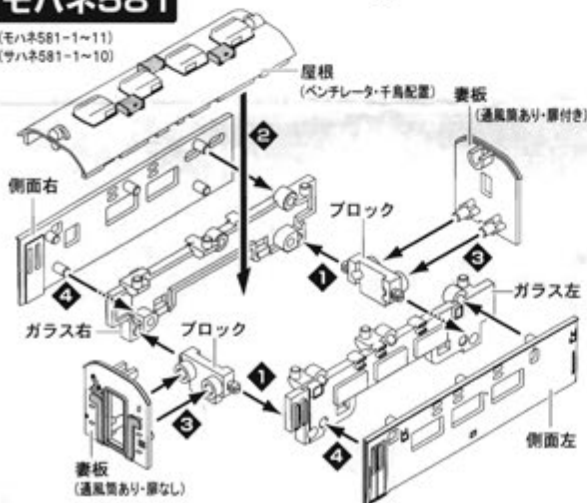


サロ581



モハネ581

(モハネ581-1~11)
(サハネ581-1~10)



●モハネ581の屋根をサロ581のものに交換すると、モハネ581-12(サハネ581-12~57)になります。

実車の編成例

●時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。

昭和42年10月・登場当時の編成

クハネ581	サハネ581	サハネ581	モハネ580	モハネ581	サシ581	モハネ580	モハネ581	サハネ581	モハネ580	モハネ581	クハネ581
月光(博多⇄新大版)、みどり(大分⇄新大版)											

昭和43年10月・以降の編成(3号車・サハネ581E、グリーン車・サロ581に入れ替え。)

クハネ581	サハネ581	サロ581	モハネ580	モハネ581	サシ581	モハネ580	モハネ581	サハネ581	モハネ580	モハネ581	クハネ581
月光(博多⇄新大版)、明星(熊本⇄新大版)、金星(博多⇄名古屋)、つばめ(熊本⇄名古屋)、はと(博多⇄新大版)											

●昭和45年10月より、しおじ(下関⇄新大版)、有明(西鹿児島⇄博多・門司湾)、きりしま(西鹿児島⇄京都)にも使用。
●昭和47年3月より、しらさぎ(名古屋⇄富山)にも使用。月光是西鹿児島⇄博多⇄岡山に変更。

昭和50年3月・以降の編成(2-3号車・サハネ+サロ581と、4-5号車・モハネ+モハネの位置を入れ替え。)

クハネ581	モハネ580	モハネ581	サハネ581	サロ581	サシ581	モハネ580	モハネ581	サハネ581	モハネ580	モハネ581	クハネ581
●月光は運転を終了。きりしま→なはに改称。明星(宮崎⇄大分⇄新大版)にも使用。											

